



HTMLの基礎

```
<div id="div1" class="style_div" title="ブロック要素です" >  
  
    <h1>見出しです。 </h1>  
  
    <p>文章を表示しています。 <br />  
  
    <span class="span_style">2行目</span>です。 </p>  
  
</div>
```

`<div></div>` ブロック要素

`id="div1"` 属性 属性同士は必ず半角で空ける。

(構文) 属性名 = “属性値”

`<h1>見出しです。 </h1>` 見出し要素 (ブロック)

`<p>文章を表示しています。 </p>` 段落要素 (ブロック)

`` インライン要素

`
` 改行要素

ブロック要素 ブロックとして表される要素 (見出し、段落、リスト、フォームなど)

- `[div]` `[form]` `[h1]` ~ `[h6]` `[dl]` `[ol]` `[ul]` `[p]` `[hr]` `[address]` `[blockquote]`

インライン要素 文章の一部としてブロック要素の中で使用

- `[span]` `[a]` `[abbr]` `[br]` `[img]` `[input]` `[button]` `[label]` `[em]` `[select]` `[object]`
`[code]` `[q]`

非推奨要素 使ってはいけない

- `[applet]` `[basefont]` `[center]` `[dir]` `[font]` `[frame]` `[frameset]` `[iflame]` `[isindex]` `[menu]`
`[noflames]` `[s]` `[u]` `[b]` `[big]` `[i]` `[small]` `[tt]`

html (最上位要素 DOCTYPE宣言後に配置)

head (文書情報)

title (文書タイトル お気に入りやブックマーク、ウィンドウのタイトルバーで使用)

タグ記述

開始タグ : <html>

終了タグ : </html>

属性

【lang】 ja (日本語) en (英語)

【dir】

【xml:lang】

blockquote (引用文ブロック cite属性で関連URL指定)

q (引用文インライン ブラウザによって引用符が付く cite属性で関連URL指定)

cite (出典・参照先)

em (強調)

strong (より強い強調)

abbr (略語 title属性で正式名称の説明)

タグ記述

開始タグ : <body>

終了タグ : </body>

属性

【id】 【class】 【lang】 【title】 【style】 【dir】 【xml:lang】

body (文書全体)

div (汎用ブロックレベル要素)

span (汎用インライン要素)

h1 h2 h3 h4 h5 h6 (見出し)

p (段落<パラグラフ>)

タグ記述

開始タグ：<body>

終了タグ：</body>

属性

【id】 固有の名前 複数使用できない スタイルシート・スクリプト・リンクで使用

【class】 分類名 複数使用の場合はこっち スタイルシートのみ

【lang】 言語コード HTML用 XHTMLは、xml:langと一緒に使う

【title】 補足情報 マウスカーソルのポップアップ

【style】 CSS直接指定。XHTML1.0までしか使えない。

【dir】 文字表記の方向 ltr (左から右) rtl (右から左)

【xml:lang】

br (改行)

タグ記述

開始タグ：

終了タグなし

属性

【id】 【class】 【title】 【style】

meta (メタ情報 head内のみ使用可能)

タグ記述

開始タグ: <meta />

終了タグなし

属性

【name】 プロパティ名

- author オーナー情報
- keywords 検索キーワード
- description 詳しい説明文
- robots ロボット型検索エンジンへの有効無効

【http-equiv】 name属性の代わり。HTTPヘッダとしてサーバーから送信したい場合

- Content-Type 文字コード
- Content-Style-Type デフォルト言語の指定
- refresh

【content】 nameやhttp-equivに対する値

- authorに対して→ 梅田 貴裕
- keywordsに対して→ キーワード,検索,HTML
- descriptionに対して→ HTMLの内容に関する詳しい説明文
- robotsに対して→ noindex all など
- Content-Type に対して→ text/html; charset=UTF-8
- Content-Style-Typeに対して→ text/css もしくは、text/javascript
- refresh に対して→ 10; URL=aaa.html

【scheme】 補助情報。(例)4-3-10の値に対して、Month-Day-Yearと指定。4月3日10年

【lang】 【dir】 【xml:lang】